

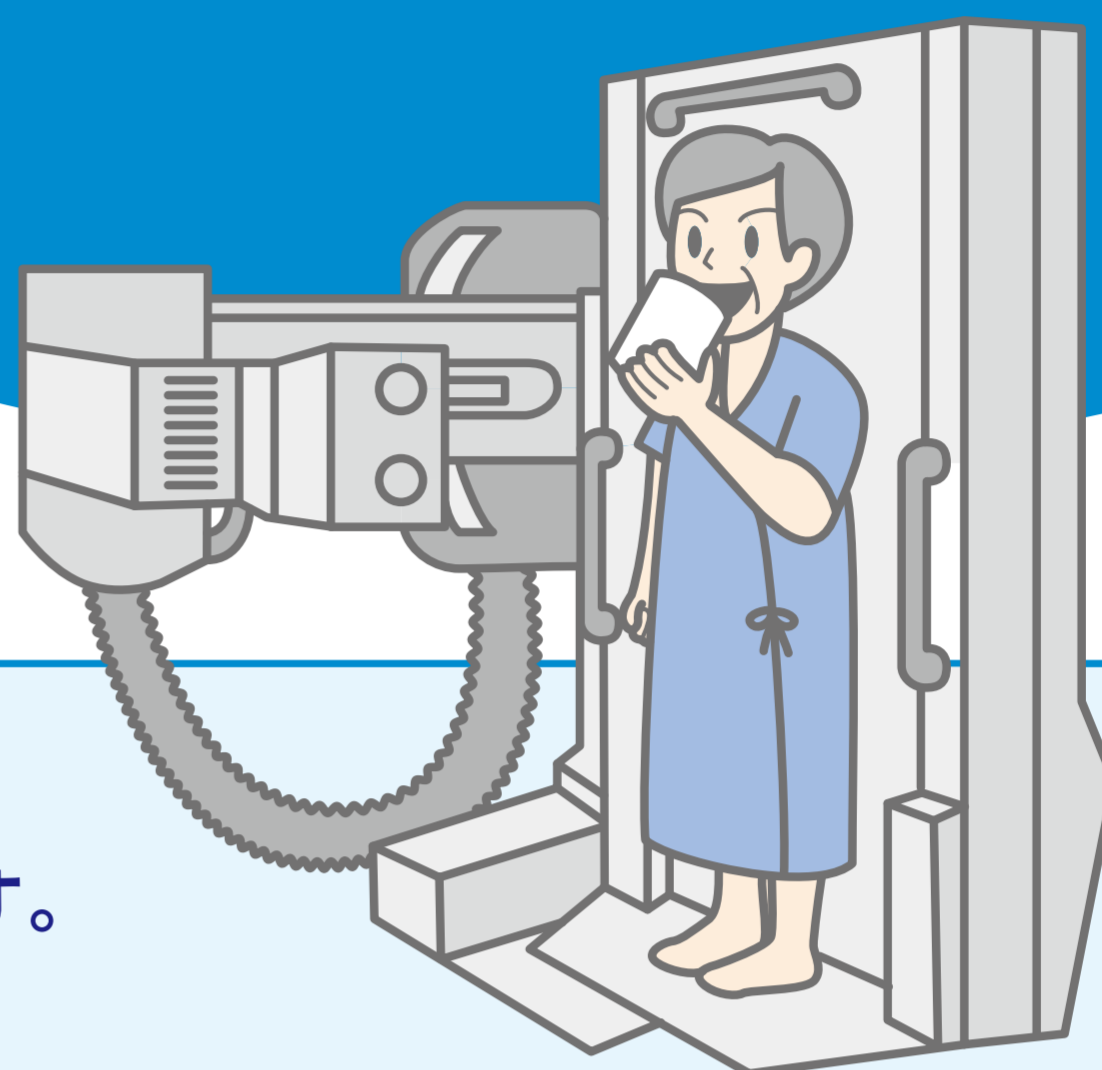


50歳からの

胃がん検診

胃部エックス線検査 編

50代から増加する胃がん
早期で見つかり、**完治することが多く**
内視鏡で治療できる可能性もあります。



早期では、症状は全くありません。
進行すると、食欲不振や胃の不快感、嘔吐などの症状が現れます。

検診内容

対象

50歳以上

※ただし、当面の間、40歳以上年に1回でも可

検診間隔

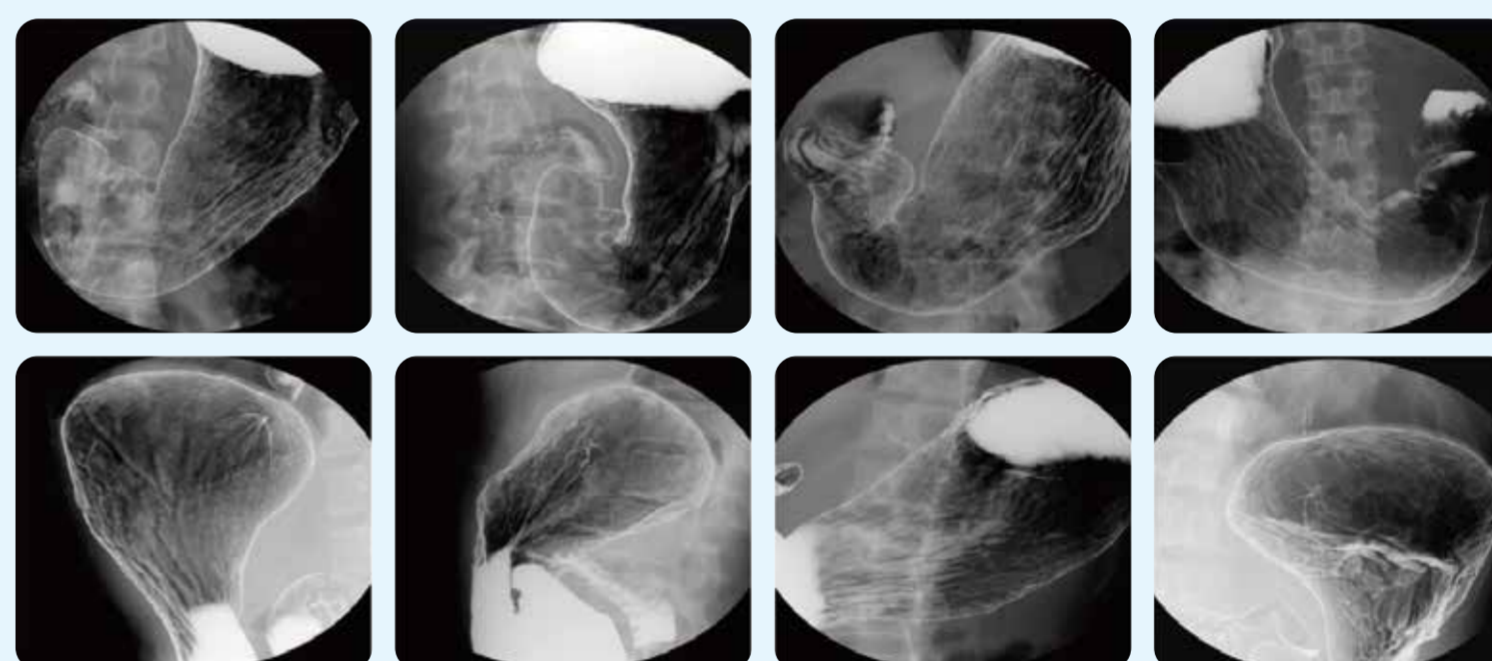
2年に1回

検査内容

問診・胃部エックス線検査



発泡剤とバリウムを飲んで、検査台の上で、
体の向きを変え、撮影をします。



撮影した画像は専門の医師が診断を行います。

市町村のがん検診は国の指針に基づいた検査方法や判定で実施しています。

精密検査

検診で精密検査となった場合には、必ず医療機関で精密検査を受診しましょう。

検査内容

胃内視鏡検査(胃カメラ)

＝ TOPICS ＝ 胃がんの高危険因子! ピロリ菌

ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)がいる場合、胃がんになる危険性は高くなります。
ピロリ菌を除菌すると胃がんのリスクが50～70%低下しますが、
胃がんになるリスクは残ります。除菌後も定期的な検診が重要です。

